

## その他について



広報部鳥 けんぼん  
©2018 協会けんぽ大阪支部



I	健康宣言・健康経営広報について・・・・・・・・・・・・・・・・P.3
II	ジェネリック広報について・・・・・・・・・・・・・・・・P.5
III	新型コロナウイルスによる影響について・・・・・・・・P.7

---

# **I .健康宣言・健康経営広報について 【令和4年3月広報】**

# 日本経済新聞「健康宣言・健康経営」広告掲載

## 【概要】

「健康経営優良法人2022」の発表時期である令和4年3月初旬に合わせ、日本経済新聞に全面広告による保険者としてのメッセージを発信することで、「健康」が「経済」や「経営」に結びつくものであることの理解促進、また「健康宣言」事業への誘導を図る。同時に協会けんぽの知名度・ステータス向上を図る。

## 【背景】

・大阪支部では、経営戦略としての「健康経営」事業を「健康宣言→健康経営優良法人」の一体的な展開により実施しており、そのターゲットを経営層としている。

・「健康宣言」数は令和3年11月末現在2,973社（令和3年度KPI:3,000社）と目標を上回る推移となっており、今後さらなる拡充が期待できる。

・日本経済新聞は国内最大の経済紙であり、メイン購読層に経営層や管理職層を多く抱えている（ESG投資に注目が集まる中、「健康経営」に関する記事も多く取り上げられている）。

・経済産業省は令和4年度柱事業の一つとして「経済×健康」（健康経営の拡充）を初めて打ち出しており、国策として今後も事業の拡大が見込まれる。

## 【期待される効果】

- ・健康宣言、健康経営優良法人の増加
- ・協会けんぽの知名度（認知度）向上

## 【内容】

- ・大阪本社版（部数574,337部）への全15段カラー広告
- ・モニタリング検証（対象：関西2府4県のビジネスパーソン、400サンプルまで）

## 【時期】

- ・令和4年3月初旬

## 【予算】 ※本部確認済

- ・支部保険事業予算 残額より流用
- 「エリアを絞った健康経営の推進」 : 1,145千円
- 「健康宣言サポートツールの企画・作成」 : 597千円
- 「健康経営優良法人フォローアップセミナー」 : 932千円
- 「健康経営セミナーの開催(大阪府との共同開催)」 : 2,429千円
- 「女性向け健康セミナーの開催(大阪府との共同開催)」 : 770千円
- 「加入者の健康づくり意識の向上(イベントの開催)」 : 4,015千円

計9,888千円

※不足分は「その他の保健事業」における「職場における健康講座」より流用

: 14,300千円

---

## **Ⅱ.ジェネリック広報について**

### **【令和3年10月～令和4年3月広報】**

# 大阪モノレールラッピング広告 他について

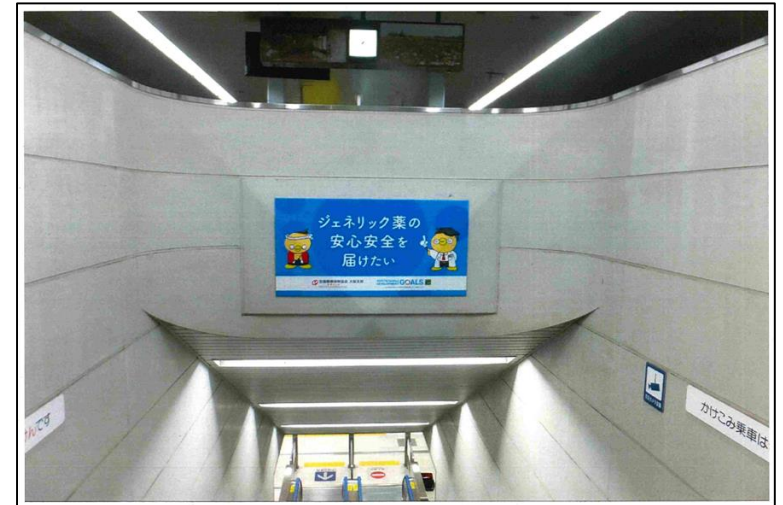
大阪モノレール  
ラッピング広告  
「協会けんぽ大阪支部号」  
令和3年11月～令和4年3月運行



阪大病院前駅構内  
ポスター広告  
令和3年10月～令和4年3月実施



阪大病院前駅構内  
パネル広告  
令和3年10月～令和4年3月実施



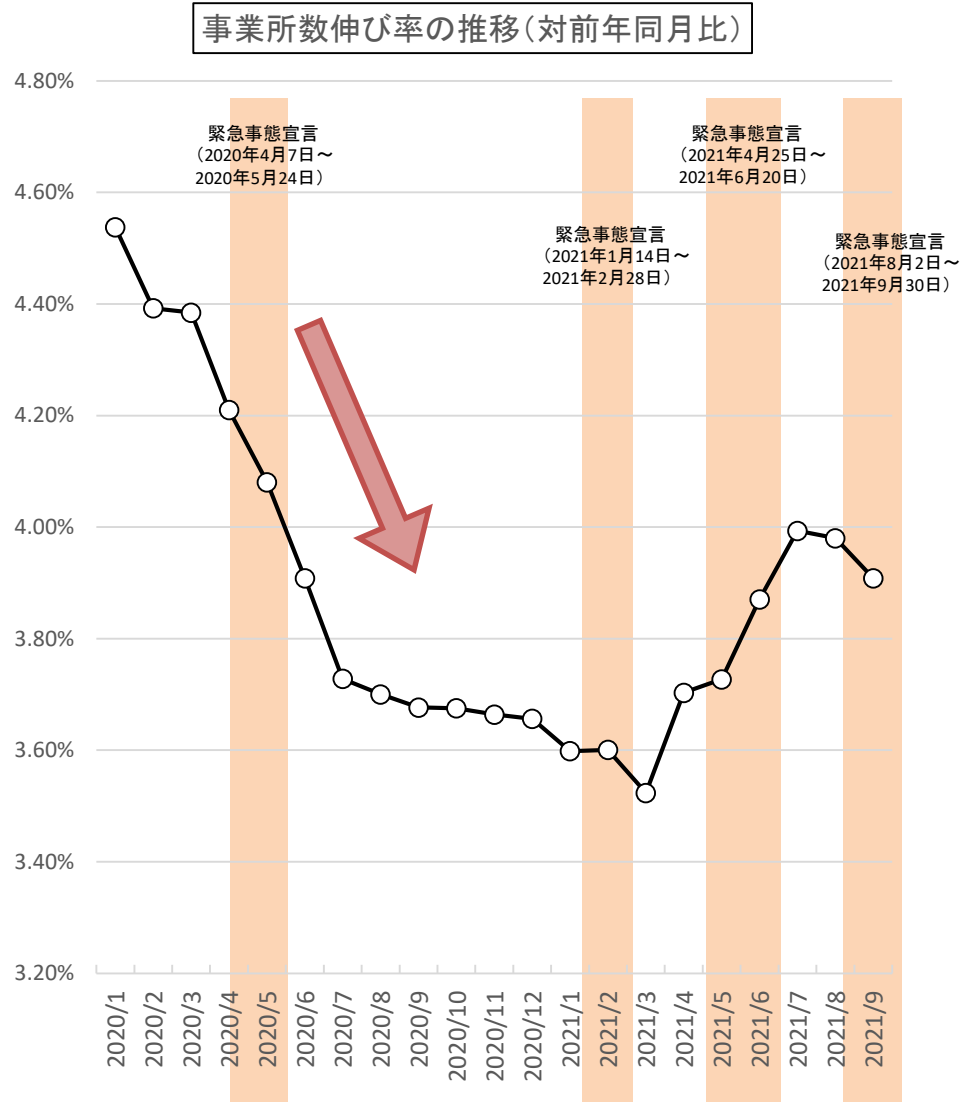
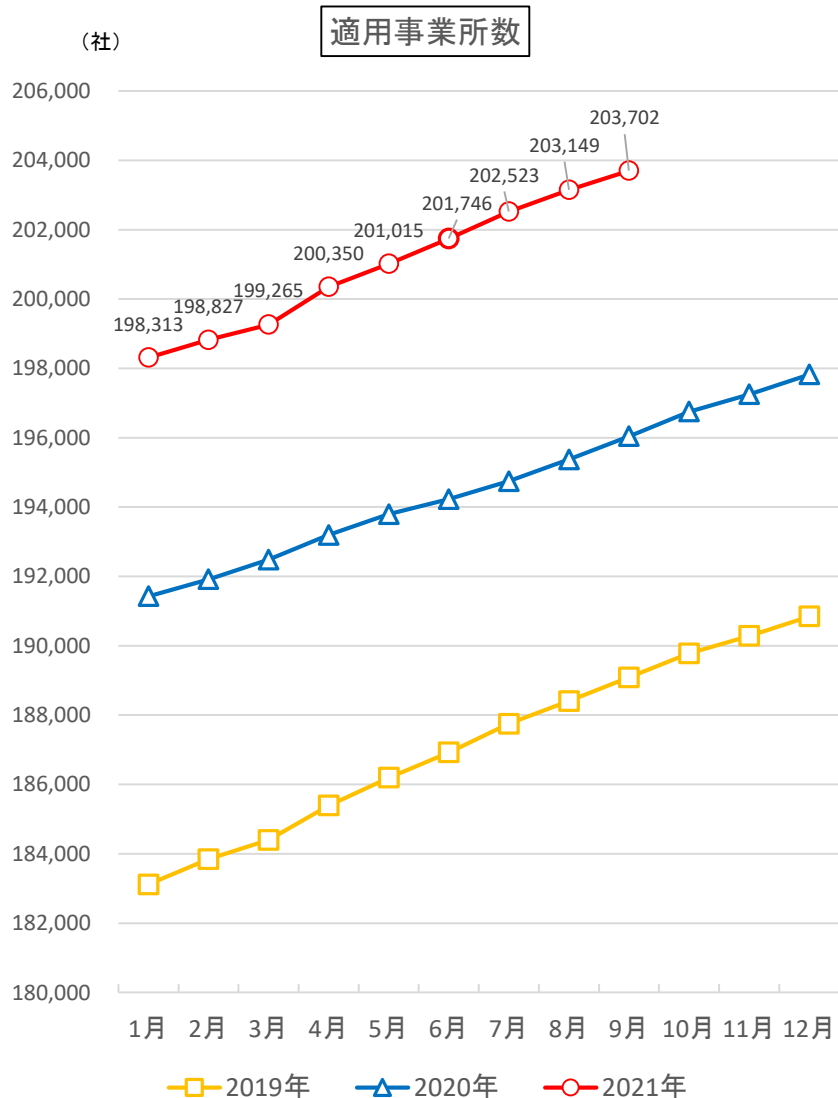
---

## **Ⅲ.新型コロナウイルスによる影響について 【令和2年1月～令和3年9月分】**



# 適用事業所数の推移

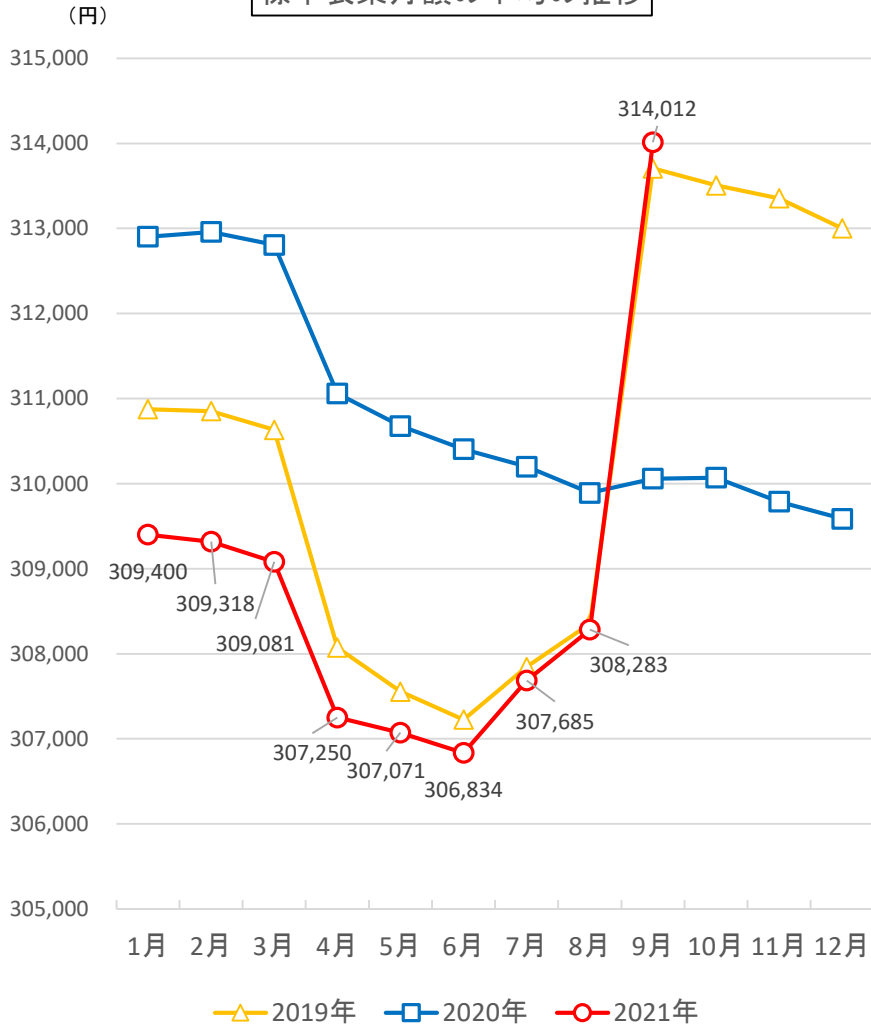
○ 緊急事態宣言後、事業所数伸び率が大幅に減少していたが、2021年4月以降上昇傾向が見受けられる。



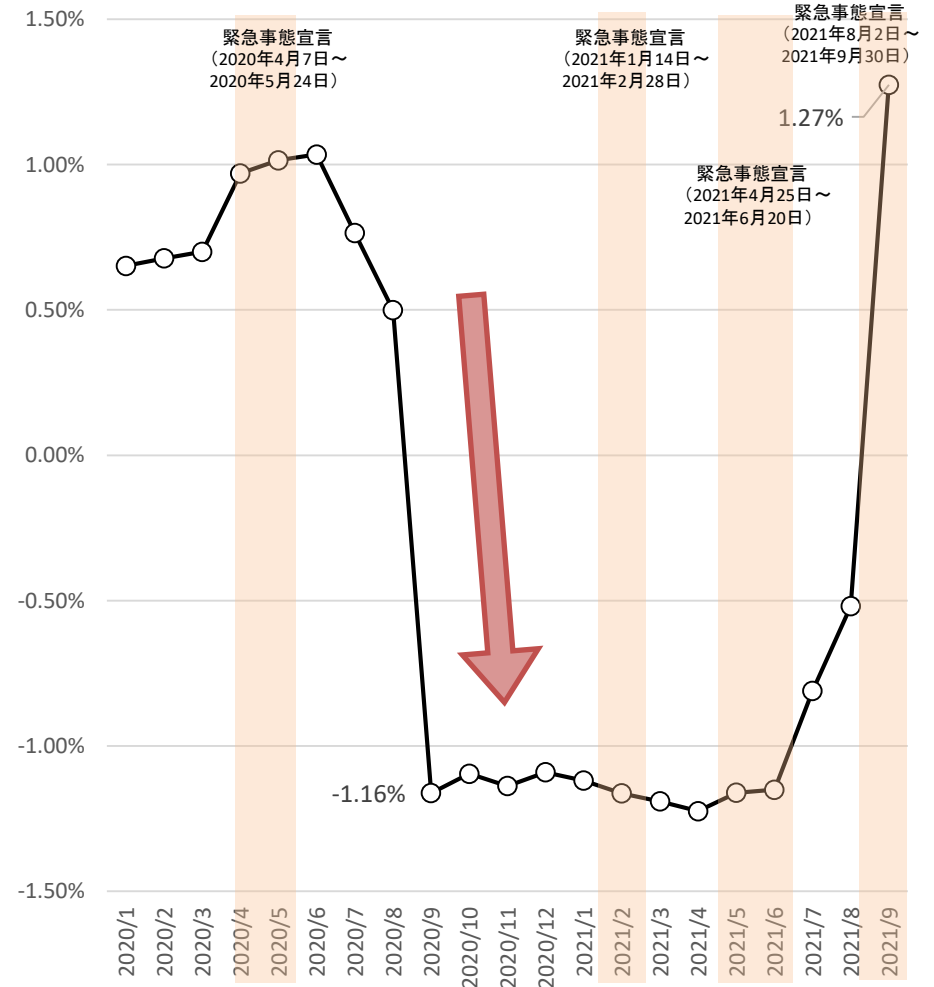
# 平均標準報酬月額推移

昨年度はほぼ横ばいの状況だったが、今年度は9月に平均標準報酬月額が大幅に増加している。

標準表集月額平均の推移



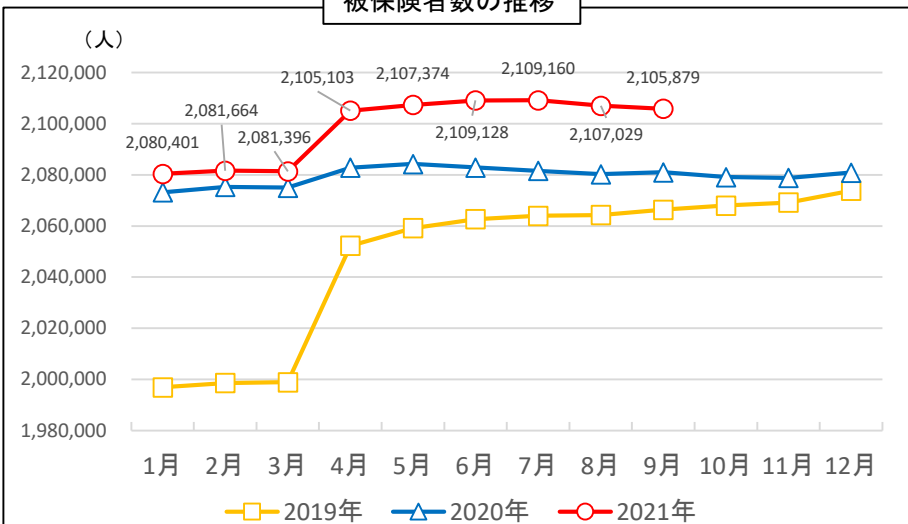
平均標準報酬月額伸び率の推移 (対前年同月比)



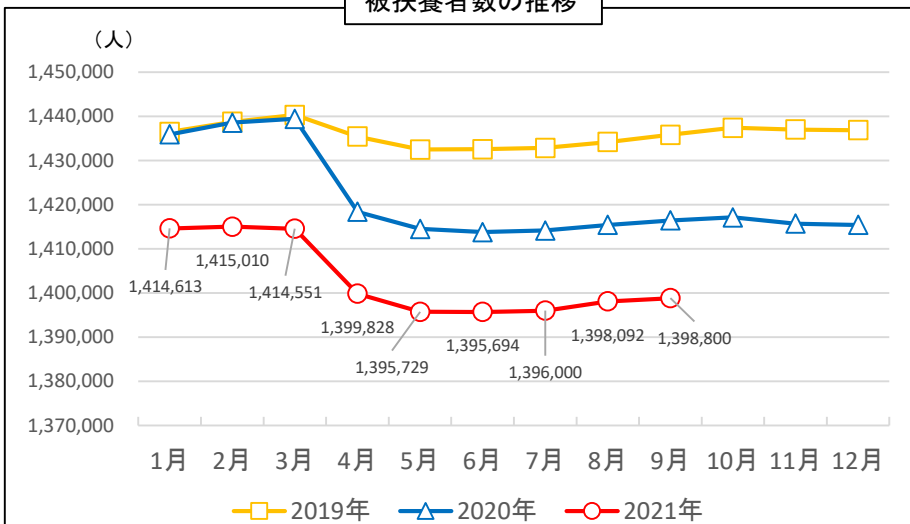
# 加入者数の推移

○ 被保険者及び被扶養者数の伸び率が緊急事態宣言後から僅かに上昇したが伸び率は鈍く、ほぼ横ばいとなっている。

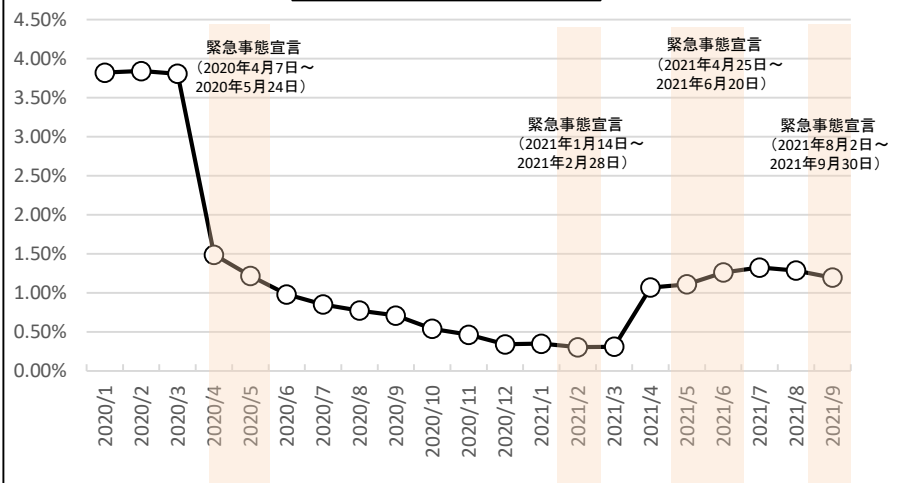
### 被保険者数の推移



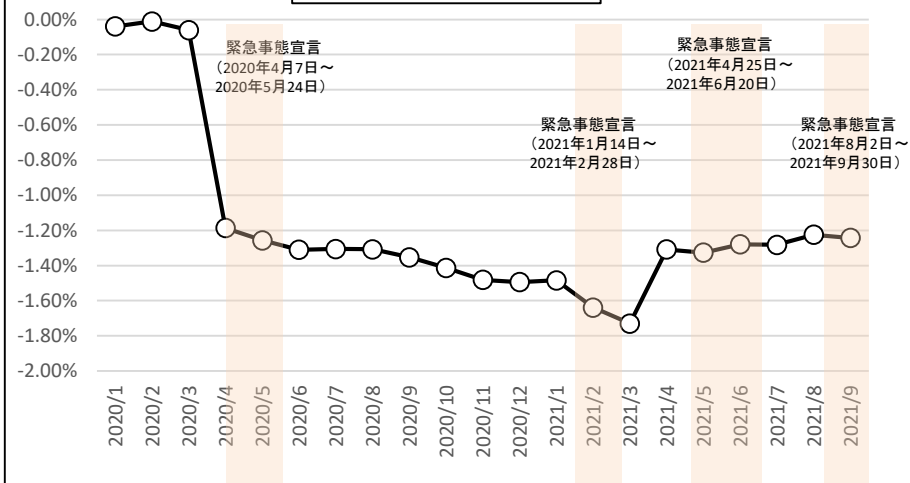
### 被扶養者数の推移



### 被保険者数伸び率の推移 (対前年同月比)



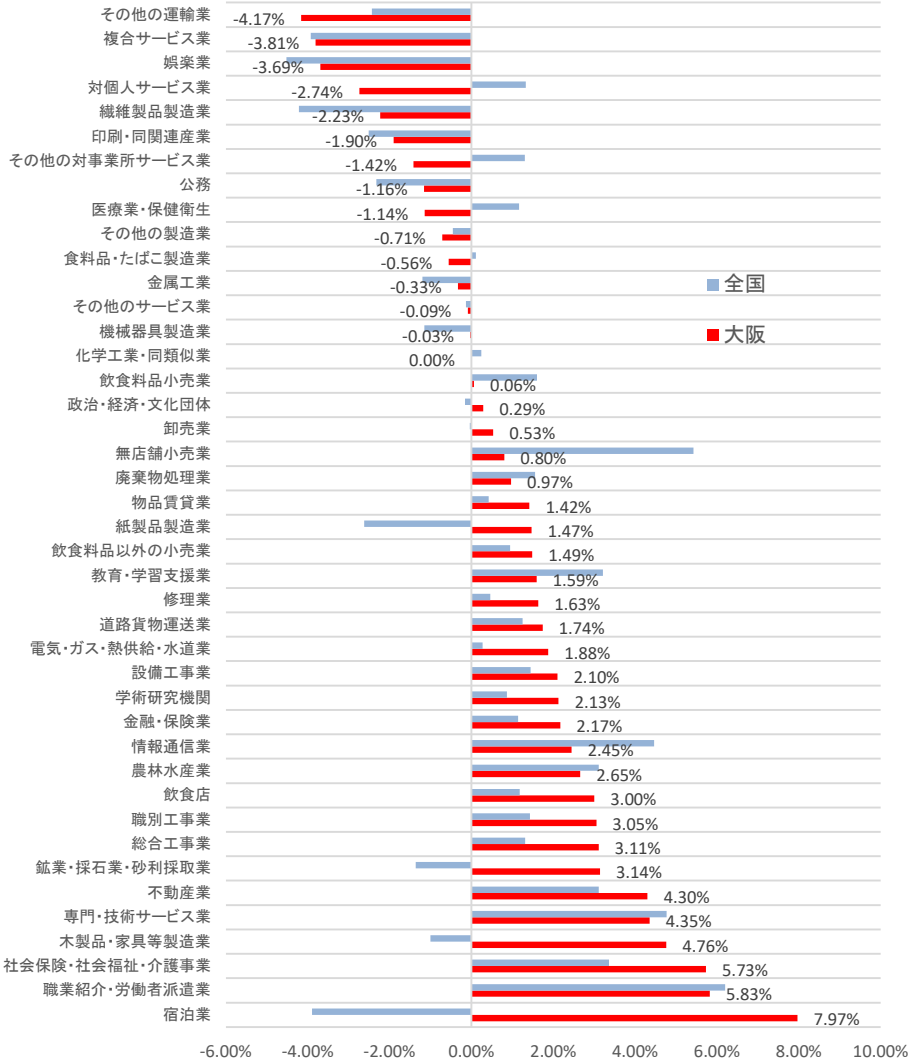
### 被扶養者数伸び率の推移 (対前年同月比)



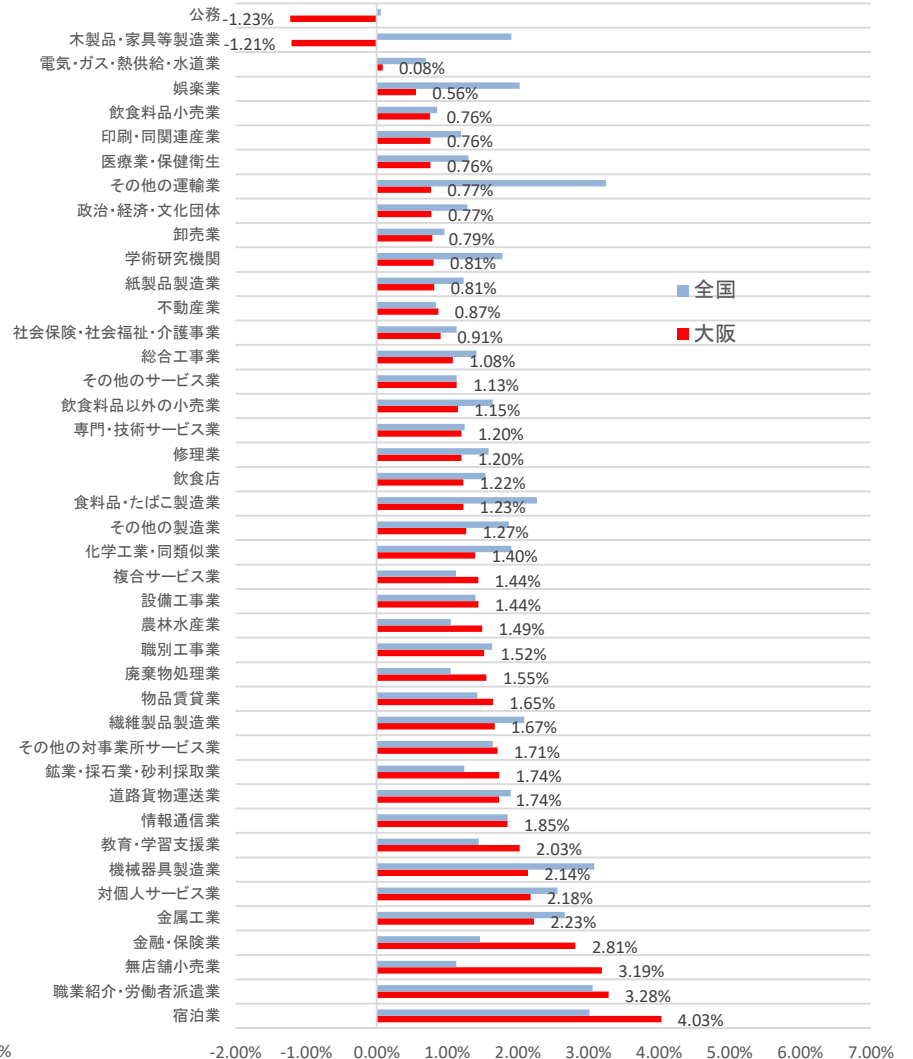
# 業態別伸び率(2021年9月現在:対前年同月比(2020年9月))

○ 被保険者数は依然として約1/3の業態が減少している。標準報酬はほとんどの業態で増加しているが上昇幅としては小さい。

被保険者数 対前年同月比 大阪と全国の比較

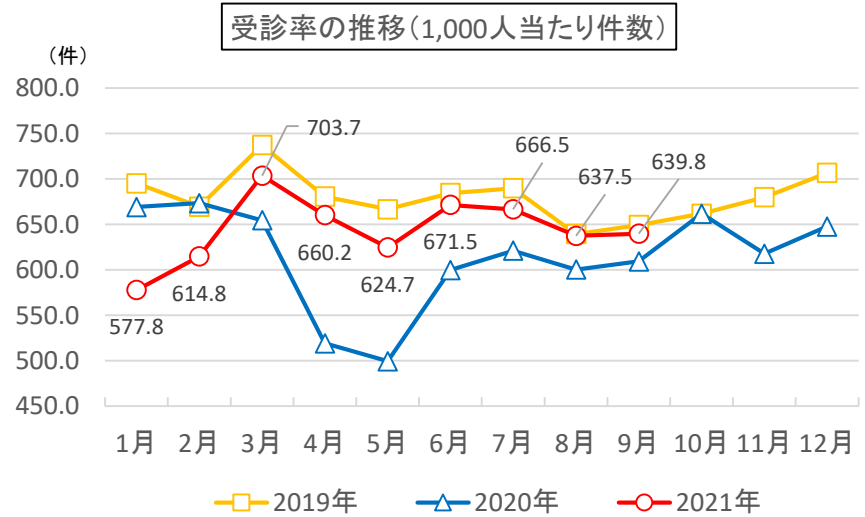
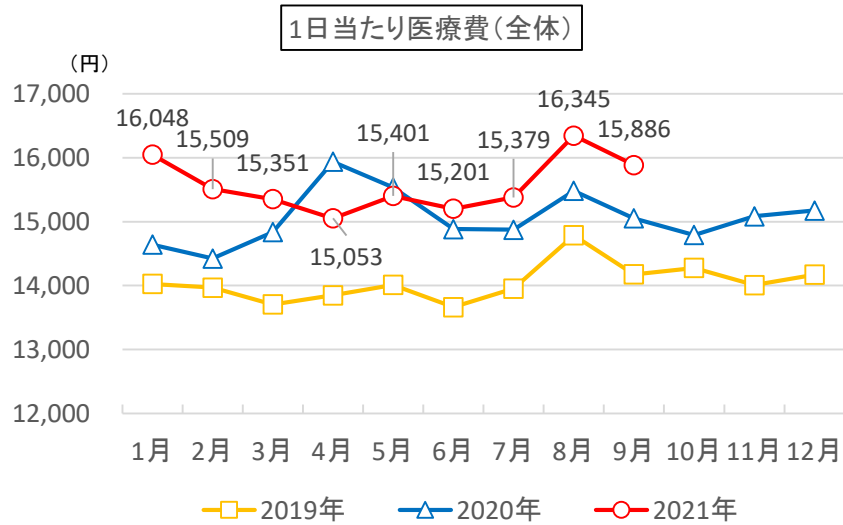
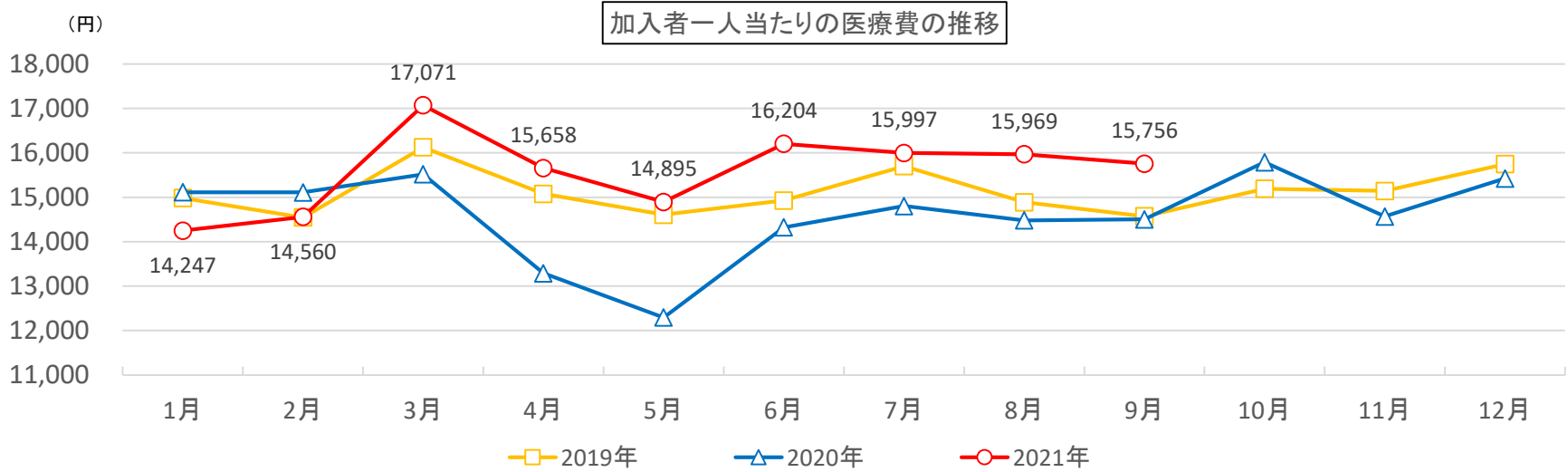


標準報酬月額平均 対前年同月比 大阪と全国の比較



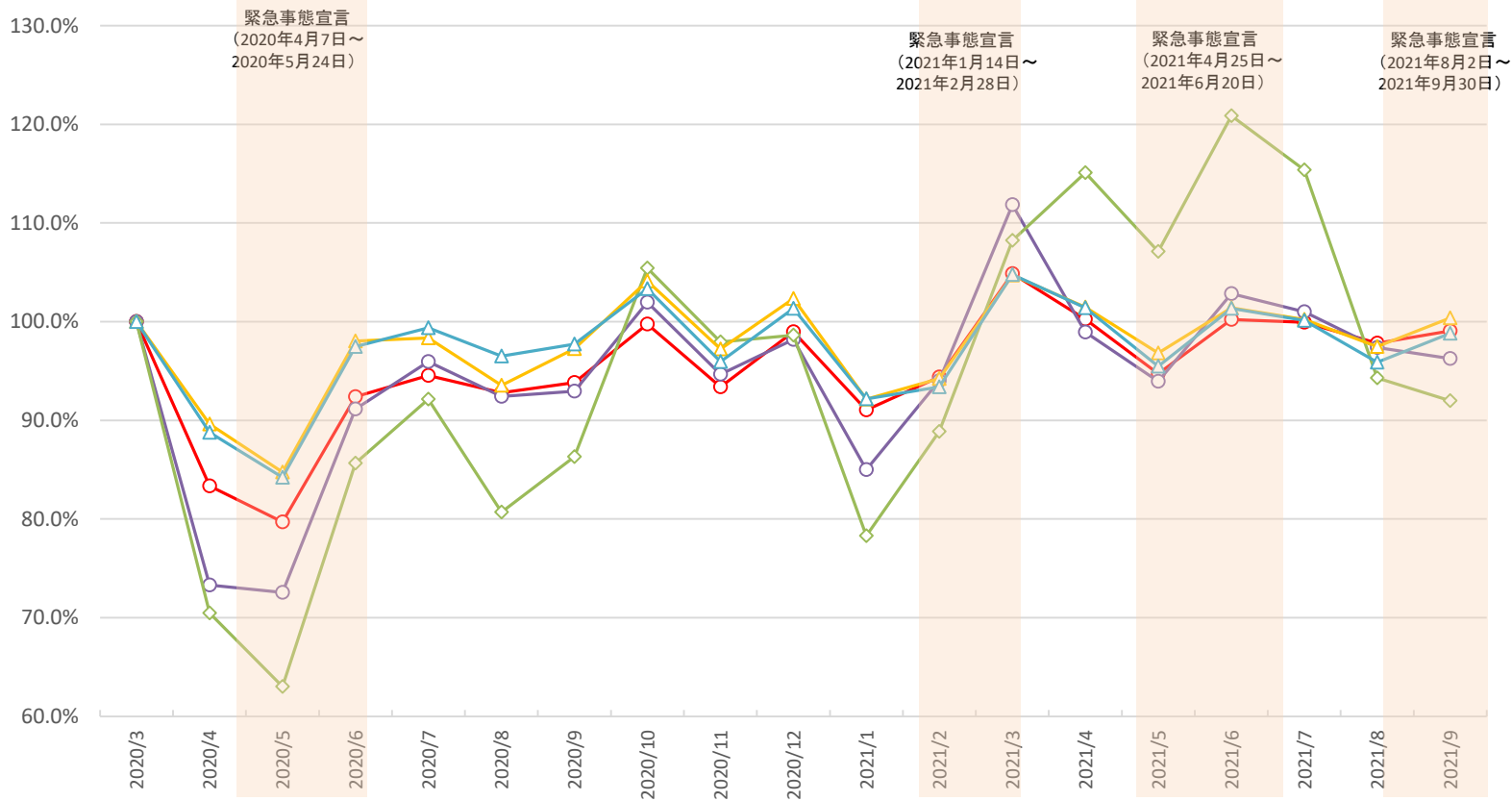
# 医療費の推移

○ 緊急事態宣言後減少していた加入者一人当たり医療費及び受診率が例年以上となり受診控えの反動と推測される。



# 加入者属性別 受診率の推移(対緊急事態宣言前、2020年3月の受診率を100%として算出)

○ 緊急事態宣言後の5月受診が大幅に低下(特に義務教育就学前)したが、解除後は回復している。



	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9
○ 被保険者	100.0%	83.4%	79.7%	92.4%	94.5%	92.8%	93.8%	99.7%	93.4%	99.0%	91.1%	94.4%	104.9%	100.2%	94.7%	100.2%	99.9%	97.8%	99.1%
○ 被扶養者	100.0%	73.3%	72.6%	91.1%	95.9%	92.4%	92.9%	102.0%	94.7%	98.2%	85.0%	94.0%	111.9%	99.0%	94.0%	102.8%	101.0%	97.4%	96.3%
◇ 義務教育就学前(再掲)	100.0%	70.5%	63.0%	85.7%	92.1%	80.7%	86.3%	105.4%	98.0%	98.6%	78.3%	88.9%	108.2%	115.1%	107.1%	120.9%	115.4%	94.3%	92.0%
△ 高齢受給者一般(再掲)	100.0%	89.6%	84.7%	98.0%	98.3%	93.5%	97.3%	104.1%	97.2%	102.4%	92.1%	94.2%	104.7%	101.5%	96.8%	101.4%	100.2%	97.5%	100.4%
△ 高齢受給者一定以上(再掲)	100.0%	88.8%	84.2%	97.5%	99.4%	96.5%	97.7%	103.3%	95.9%	101.3%	92.2%	93.4%	104.8%	101.4%	95.5%	101.3%	100.1%	95.9%	98.8%

